

学校建築の鉄筋コンクリート造化と地域拠点化

建築史研究者を中心にした公共施設 RC 造化研究グループ（代表：西澤泰彦 @ 名古屋大学）は、日本における公共施設の RC 造化の過程を解明する研究活動を 2021 年度から開始しました。一方、計画系研究者を中心にした公立学校・廃校の地域拠点転換研究グループ（代表：小松尚 @ 名古屋大学）は、全国に存在する公立学校・廃校を地域拠点（コミュニティ・ハブ）に転換する計画・運営・プロセスとその評価指標を考察する研究活動を、2022 年度から開始しました。この 2 つの異なる分野、異なる科研費グループによる研究に共通する対象、関心事である「学校建築」について、異なる視点からのアプローチを試み、学校建築が持つ特性を複眼的に捉えながら、社会資本としての学校建築の存在意義や社会的位置、今後の展望を考えます。



主催： 公共施設 RC 造化研究グループ（代表：西澤 泰彦）+ 学校・廃校の地域拠点転換研究グループ（代表：小松 尚）

日時： 2023 年 12 月 11 日（月） 15:00-18:00

会場： 名古屋大学環境総合館 1 階 レクチャーホール（名古屋市千種区不老町 1）

プログラム： 15:00 趣旨説明（西澤+小松）

15:05~16:50 話題提供

公共施設 RC 造化研究グループ

砂本文彦（神戸女子大学） 「戦前期小学校のコンクリート造化にかかる一考察」

角 哲（北海道大学） 「函館の復興小学校—弥生小学校の設計図にみる—」

橋寺 知子（関西大学） 「大阪・神戸の RC 造小学校校舎」

学校・廃校の地域拠点転換研究グループ

小松 尚（名古屋大学） 「中学校と公民館の融合化による地域拠点形成」

小篠 隆生（北海道大学） 「「都市の空隙」に寄与する小学校の土地利用」

斎尾 直子（東京工業大学） 「コミュニティハブとしての学校／日常利用と災害時の避難所機能のリンク」

17:00~18:00 意見交換

定員・参加費： 50 名（会場）+50 名（オンライン） 参加無料【要申込】

申込方法： 氏名と所属を明記し、下記のメールアドレス宛にメールでお申し込みください。

申込締切： 2023 年 12 月 8 日（金）

申込+問い合わせ： 小倉畑昂祐（gakkou.symposium(at)gmail.com）：メール送信時には（at）を@にしてください